

「感じ」「動き」「かわる」…新たな未来にむかって！



さくらの学校だより

平戸市立田平東小学校 学校だより 令和7年9月29日 文責：校長 森川 稔

がんばれ6年生！

10月2日(木)に行われる第21回平戸市小学校陸上大会。その陸上大会に参加する6年生を激励する会が行われました。

全校児童の拍手のもと、堂々の入場です。出場する6年生が種目ごとに紹介されました。その後在校生からは5年生をリーダーにしてエールが送られました。実はこの激励会、5年生が中心となって考え、先週月曜日の朝に、各学年教室に声の出し方や動きなどを教えに行く活動を行いました。しかし、これまで運動会など6年生のサポート役的な立場だったのが、いざ自分たちが在校生の前に立つと、思うように説明できないなど、みんなをまとめることの難しさを実感し、ほろ苦いデビューとなったグループもあったようでした。しかし、その経験をもとに、朝の時間や休み時間も練習を重ね、前日には体育館で練習し、本番では声が揃った元気なエールでした。6年生に対して「がんばれ!」のメッセージを送ることができました。

この陸上大会、もしかすると保護者や地域の方も子どもの時に参加されたご経験があるかもしれませんが、今回が最後の大会となります。他校との交流を深めること、自分の力を出し切ること、最後まで立派な態度でやりきること。そんな大会にしてほしいと思います。がんばれ6年生！



ライスセンター、酒造会社に行ってきました

5年生は総合的な学習の時間で米作りをしています。お米に関する学びとして「酒造場」と「ライスセンター」の見学に行きました。

1つめの見学地、市内にある酒造場です。創業130周年のこちらでは、日本酒・梅酒・リキュール酒を作っています。実際に使われている機械や部屋などを間近で見せていただき、子どもたちは目を輝かせながら説明を聞いていました。



酒造りに欠かせない酵母・麴の話、米によって味が変わることを、たくさんの方に飲んでもらう工夫などを教えていただきました。「お酒って時間をかけてゆっくりできるんだね」など、学びのある発見がたくさんあり



ました。働く人の工夫や努力を知ることができ、理解が一段と深まりました。

見学の終わりには質問タイムもあり、「どのくらいの期間でできあがるのですか?」といった子どもたちの疑問にもていねいに答えていただきました。



2つめの見学先は「ライスセンター」です。ここでは、収穫された稲がどのような工程を経て「お米」として出荷されるのかを学ぶことができます。

子どもたちはまず、大きな乾燥機の前で説明を受け、刈り取ったばかりの稲の水分をじっくりと抜いていく工程に驚いていました。その後、もみすりや選別といった作業も見学し、お米が私たちの食卓に届くまでには、たくさんの工夫と人の手が関わっていることを実感していました。

見学の最中には、「一粒一粒をていねいに選んでいるんだね」といった声が聞かれました。お米ができるまでに、たくさんの時間と人がかかわっていることを知りました。農業や地域の産業への理解が一層深まるとともに、食べ物を大切にする気持ちも育まれたようです。

今回の見学を通して、私たちの暮らしを支えている食事・産業の大切さや「いただきます」「ごちそうさま」の言葉の重みを改めて感じることができました。



朝ごはんをしっかり食べよう！

食育指導で、町内の学校から栄養教諭の先生に来ていただき、4年生に朝ごはんの大切さについて話していただきました。まずは、給食室からの食器等運搬の様子や配膳の様子を見ていただきました。

朝ごはんをしっかりと食べることで、頭と体とおなかのスイッチが入り、元気に一日をスタートできることについて、イラストやカードを示しながら話してくださいました。秋は「食欲の秋」ではありますが、規則正しい生活と食事で健康な心と身体になることがわかりました。これからも、「早寝」「早起」「朝ごはん」を意識して生活していきます。

しっかり
食べよう
朝ごはん



*「学校評価アンケート」へのご回答、ありがとうございました。お寄せいただいたご回答は集約、考察を行い、近日中にお知らせいたします。

*お子さんの持ち物への意識付け、ありがとうございます。学習用具等が揃い、笑顔で学びに向かう姿が増えてきています。

田平東小HPはこちらから→

